

大学生の就職率、過去最低と同じ91.1%

前年同期比で0.7ポイント低下

旺文社 教育情報センター 平成23年6月

文部科学省(以下、文科省)および厚生労働省(以下、厚労省)はこの程、東日本大震災の被災地を除く、大学・短大等の就職状況(暫定値)を発表した。それによると、平成23年3月卒業者で就職を希望している大学生の就職率は、4月1日現在で91.1%(前年同期比0.7ポイント低下)。“大寒波到来”といわれた前年度を下回る、非常に厳しい状況であることが判明した。

概況

● 11年度に記録した、過去最低と同じ

大学生の就職率は、“就職氷河期”といわれた11年度(平成12年4月1日現在)の91.1%と同じ、過去最低を記録した。前年同期比は-0.7ポイントとなった。また、短大女子も就職率84.1%となり、11年度の84.0%に次ぐ過去2番目の低さで、前年同期比は-4.3ポイントと過去3番目の下げ幅となった。(図1参照)

● 内訳一男子は過去最低、私立女子・私立文系苦戦、私立理系大きく低下

大学生の就職率を男女別にみると、男子は過去最低の91.0%(前年同期比-1.0ポイント)、女子は過去4番目に低い91.2%(同-0.3ポイント)。文理別では、文系が90.7%(同-0.3ポイント)に対し理系は93.0%(同-2.2ポイント)。私立女子90.1%(同-0.1ポイント)、私立文系90.3%(同-0.2ポイント)の苦戦が目立つ。また、下げ幅は私立理系の-2.6ポイント(就職率90.8%)が最大。設置者別では、国公立が93.4%(同-1.1ポイント)、私立が90.4%(同-0.4ポイント)と、国公立と私立の就職率の差は、昨年の3.7ポイントから3.0ポイントに縮まった。地域別では、九州地区が最も低く88.2%(同-0.7ポイント)。また、最も高い関東地区92.7%(同+2.1ポイント)を除き、近畿地区91.4%(同-3.3ポイント)、中部地区89.0%(同-4.6ポイント)など全ての地区で悪化した。なお、北海道・東北地区は、震災の影響により未集計。

文科省と厚労省が調査した4月1日現在の大学生の就職率は、10月1日、12月1日、2月1日調査に引きつぎ過去最低となり、3月新卒者の就職状況は、前年にも増して非常に厳しい水準となった。

厚労省の推計値によると、大学の新卒者数は55万5千人(以下の人数は厚労省推計値)。大学就職希望者数は10月1日調査41万人、4月1日調査37万人で、この間約4万人の新卒者が、就職を諦めたか進路を変更したことになる。また、4月1日調査の大学就職者数は33万7千人。卒業しても就職先が決定しない就職希望新卒者が約3万3千人にのぼる。やや乱暴な試算になるが、10月1日調査の大学就職希望者数41万人で計算すると、就職率は82.2%となる。一方、千葉労働局が毎年発表している、管内にキャンパスがある大学等(大学院生含む)32大学の4月1日現在の数値は、卒業者数21,556人、求職者数14,681人、就職者数11,962人で、就職率は81.5%(前年同期比-0.7ポイント)。同労働局の発表資料には、『この調査は、4月1日時点で学生からの報告等により大学が把握している就職状況を取りまとめたもので、大学等の協力により可能な範囲で把握した数字を取りまとめており、報告のない学生や連絡の取れない学生などは未就職として計上している。文科省・厚労省調査とは、調査方法が異なることから、この調査と直接数値を比較できるものではない』と明記されている。今後の動向に引きつづき注意していきたい。

<文科省・厚労省の調査概要>

○調査依頼先

設置者・地域の別等を考慮し、文科省・厚労省において抽出。大学62校(国立21校、公立3校、私立38校)、短大20校、高等専門学校10校、専修学校20校、合計112校(うち、6校が未集計)

○調査対象人員

大学・短大・高等専門学校……計5,690人、専修学校……560人、計6,250人(うち、320人が未集計)

○調査方法・内容

各大学等において、所定の調査対象学生を抽出した後、電話・面接等の方法により、性別、就職希望の有無、内定状況につき調査を実施。

○調査時期

平成22年10月1日、12月1日、23年2月1日、4月1日の4回実施

平成22年度

大学・短大・高等専門学校卒業予定者の就職状況調査(平成23年4月1日現在)

*就職率=就職希望者に対する現時点での就職者の割合。

*前年度就職率=平成22年4月1日現在調査の前年度卒業学生の就職率。

*カッコ内は前年度同期調査からの変動値(ポイント:▲は低下)。

[全 体]

区 分	就職希望率	就職率	前年度就職率
大 学	66.4% (▲0.4)	91.1% (▲0.7)	91.8%
国公立	50.9% (▲1.9)	93.4% (▲1.1)	94.5%
私 立	74.0% (0.3)	90.4% (▲0.4)	90.8%
短期大学	74.8% (3.5)	84.1% (▲4.3)	88.4%
高等専門学校	56.7% (1.7)	98.5% (▲1.0)	99.5%
合 計	66.6% (0.2)	90.8% (▲1.1)	91.9%

[男 子]

区 分	就職希望率	就職率	前年度就職率
大 学	60.3% (▲0.4)	91.0% (▲1.0)	92.0%
国公立	44.0% (0.4)	92.3% (▲1.8)	94.1%
私 立	68.8% (▲1.0)	90.6% (▲0.8)	91.4%
高等専門学校	56.7% (1.7)	98.5% (▲1.0)	99.5%
合 計	59.9% (▲0.1)	91.9% (▲1.0)	92.9%

[女 子]

区 分	就職希望率	就職率	前年度就職率
大 学	75.0% (▲0.3)	91.2% (▲0.3)	91.5%
国公立	61.8% (▲5.5)	94.7% (▲0.2)	94.9%
私 立	80.9% (2.0)	90.1% (▲0.1)	90.2%
短期大学	74.8% (3.5)	84.1% (▲4.3)	88.4%
合 計	75.0% (0.5)	89.7% (▲1.2)	90.9%

[大学：文理別就職率]

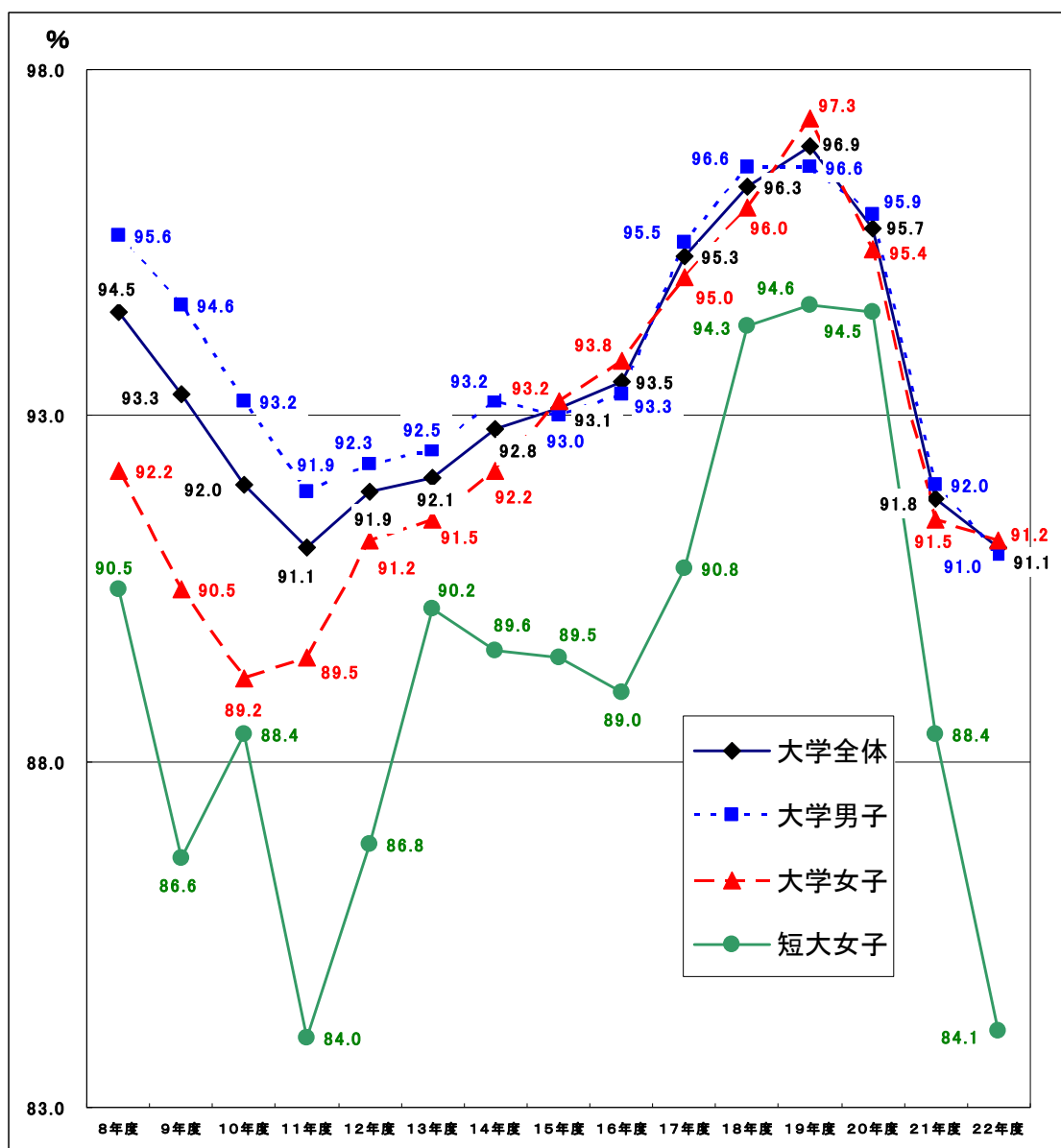
区分	文系	理系
大学	90.7% (▲0.3)	93.0% (▲2.2)
国公立	92.3% (▲0.8)	95.8% (▲1.3)
私立	90.3% (▲0.2)	90.8% (▲2.6)

[大学：地域別就職状況]

地域	就職率	地域	就職率
北海道・東北	- (-)	近畿	91.4% (▲3.3)
関東	92.7% (2.1)	中国・四国	91.5% (▲0.3)
中部	89.0% (▲4.6)	九州	88.2% (▲0.7)

※北海道・東北地区は、震災の影響により未集計

◆ 大学・短大卒業者の就職率（平成23年4月1日現在）の推移◆（図1）



※平成8年度から、文部科学省・厚生労働省調査を実施。